



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 [honkou-soudan@at-mhk.jp](mailto:honkou-soudan@at-mhk.jp) (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、成果物やテストで学習を評価、年4日間福岡安宅(あたか)の本校にてスクーリング(面接授業)を受ける学習システムです。

### 子どものおかげで親になれる

校長 日野 公三

子どもたちは大人の写し鏡である。  
 大人の背中を見ている。  
 大人は子どもたちを理解するのに時間がかかるが、子どもは大人を理解するのにそう時間を要しない。  
 この人は正しい人が、言っていることと成していることが一致しているか、つまり誠意があるか、見抜くのに時間はかからない。  
 親は子どもによって親になり、みそぎを得て、自らの未熟さに気付く。  
 親は子どもの成長とともに与えられた親としての権利を時間をかけて責任に変えていく。

### 平成 29 年度第 9 回卒業式 特集号



設置認可者である川崎町手島町長より、ご祝辞をいただく。ご来賓には川崎町教育長、町議会議員、安宅区長ほか、三十名のご来賓の方々がお祝いにかけてください。



福岡 本校 所属生徒 内訳 (3/31 付)				
スクール生	ネット生	セルフ生	サポート校	合計
28 名	46 名	11 名	20 名	105 名

全校  
360 名

答辞は植田君

卒業生 百八名(本校三十七名)



校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 [honkou-soudan@at-mhk.jp](mailto:honkou-soudan@at-mhk.jp) (メールはこちらどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

平成29年度 第9回 卒業証書授与式 終わる

去る3月吉日、全校106名、川崎町本校所属37名の卒業生が巣立っていきました。今月号は卒業式特集版でお送りします。

当日は数日前の寒波から一転、小春日和の晴天となりました。前日に行われた在校生主催の「卒業生を祝う会」に涙はおいてきたので当日は皆笑顔でお別れしようと誓い合いました。佐土嶋先生が手塩にかけて作って下さった、3年間30分の思い出のDVD(記念品)が流れる中、式を待つ保護者と来賓の皆様方。

いよいよ卒業生入場。和やかに厳粛に卒業証書授与式が執り行われました。

式終了後はいつもスクーリング終了日の本校生徒との交流会で出される定番のお赤飯と散らし寿司を担任の先生と保護者も一緒に食べ収めました。

思い出いっぱいの校舎と校庭で何枚も何枚も写真に納まる卒業生と在校生。名残惜しい時間は瞬く間に過ぎ、お別れの時。巣立ちの時。お世話になった皆様にはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。 副校長 小賀 友子

卒業式後の幸せのひと時



←NHKの取材に応じる専門学校に進学する仲良しさん

